

表 8 昭和五十七年度 福島県文化センター事業

事業名	実施期間	場 所	参加入場人員
・ 文化会館 —(自主事業)— (1) 交響楽の夕べ「東京交響楽団演奏会」 (2) 少年劇場 (3) 親子劇場 (4) 福島県バレエフェスティバル (5) 福島県交奏楽トッポコンサート (6) 福島県三曲演奏会 (7) 文学講演会 (8) 文化講座 —(文学・東洋文化・法學) (9) 映画会 —(郷土史) (10) 地域文化振興協力事業 —(委託事業)— (11) 家庭劇場 —(共催事業)— (12) 青少年芸術劇場オペラ公演	十一・二七 六・四一六・一九 七・二一 五・二一 六・二七 六・二七 九・二五 七・二〇 七・二七、八・一 年間 五月二一 七・二二、八・二三の毎土曜 年間 六月一、七月 七・二四	県文化センター 福島市ほか七市二町 県文化センター いわき市市民会館 県文化センター 二本松市文化センター 須賀川市東公民館 原町市文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 小野町外二四町村 県文化センター	一、九四三 一九、三三三 三、九五〇 一、四〇〇 一、九〇〇 一、二〇〇 一九〇 六〇 一八五 一四四 一、五六〇 実施中 二、八三〇 一、七〇〇
・ 美術博物館 —(自主事業)— (1) ロートレック展 (2) 院展 福島展 (3) 美術ギャラリー展 (4) 美術講座 —(委託事業)— (5) 福島県収蔵美術展 —(共催事業)— (6) 福島県総合美術展 —(共催事業)— (7) 第一回福島県選抜美術展 (8) 草原のシルクロード展	一一・四一、一二・二六 一一・四一、一二・二六 後一月、中旬、三月 七・一〇、七・一一 八・二八、八・二九 前四・三、五・二〇 後四・三、五・二〇 六・一三、六・二三 十一・二、十一・六 七・三〇、八・一五	県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター 県文化センター	実施中 六、一〇〇 〇、一〇〇 〇、三〇〇 〇、三〇〇 〇、一〇六〇 二、三〇〇 二、三〇〇 二、三〇〇

事業名	実施期間	場 所	参加入場人員
・ 歴史資料館 —(自主事業)— (1) 福島県の版木とお札展 (2) 古文書研究講習会 (3) 地方史研究講習会 —(委託事業)— (4) 古文書緊急調査 (5) 発掘調査(母畑・会津農水・真野ダム) (6) 分布調査(母畑・矢吹・阿武隈・東北横断道・相馬開発)	十一・五、十一・三〇 七・三〇、七・三一 十一・二六、十一・二七 年間 年間 年間	県文化センター 国見町福祉センター 県文化センター	三、四一〇 一九四 一四八 実施中 実施中 実施中

下二十一名(宮籍課併任職員等五名を含む)となり、室が狭隘なため二室に分かれての執務ではあるが、各施設のオープンをめざして仕事に取組んでいる。美術館、図書館の両施設は、五月二十六日に入札を行ない、美術館は鶴鹿島建設仙台支店、図書館は鶴大林組仙台支店が落札した。その後、七月七日の契約議決(六月定例県議会)を待って七月十一日に着工となり、仮囲い等の安全施設の設置を完了した八月四日に起工式並びに安全祈願祭が行われた。工事は、地盤の悪さを克服しながら順調に進み、九〇〇セットに及ぶ杭打ち工事も十月二十九日に完了し、これにより基礎工事が本格化されることとなった。

また、美術館の作品収集については現在まで、購入、寄贈等合せて四百点余のぼっており、特に本年度に入っからの収集作品の中には、ベン・シヤーンの「スイミングプール」、「WPAサンデー」、「ラッキードラゴン」、ジョン・スローンの「ジェファ

二 県立博物館
博物館の建設準備作業として、本年度は建築基本設計と展示基本設計を外注委託することとしているが、そのうち展示基本設計については、「鶴太郎メデア開発研究所」と九月六日に委託契約を締結し、学芸員との打合せ会議も第三次まで進んでおり、また建築基本設計については、プロポーザル方式により鶴佐藤武夫設計事務所を選定し、十二月七日に委託契約を締結した。

一方、博物館の展示品として必要な展示資料の所在調査、出品確認調査も順調に進み、展示資料として把握件数は約四千点に達している。